

第4回

老年薬学総合研修会 (WEB開催)

～老健施設の「かかりつけ医連携薬剤調整加算」算定要件対応 (薬剤師対象)～

※本研修会の一部を除き、第1,2,3回老年薬学総合研修会と同内容になります。

■開催日時：2022年6月26日(日) 1日講習 9:00～17:00

参加申し込みQRコード

■開催方法：ZOOM (WEB開催)

■対象者：老年薬学の基礎を総合的に学びたい方

■定員：70名

■参加費：会員：10,000円、非会員：16,000円

■付与単位：老年薬学総合研修会受講証明書 (本証明書にて「老年薬学3単位及びコード11-N2)」付与)

■お申し込みURL：<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/jsgp/89>

■お申し込み〆切り：6月10日18時〆



第一部【座学講義】

No	シラバス	講義時間	講師	老年薬学会カリキュラム区分
1	高齢者における病態の特徴と治療の基本 ～高齢者の多病、老年症候群、日常生活機能低下～	30分	秋下雅弘 (医師)	2. 高齢者に多くみられる症候、障害 3. 高齢者に多くみられる疾病
2	高齢者のフレイル・サルコペニア ～診断と対策 (栄養・運動、処方見直し)、転倒・骨折～	30分	荒井秀典 (医師)	1. 加齢に伴う生理・身体機能の変化
3	認知症と高齢者精神疾患の対応 ～認知症・うつ病の薬物療法、BPSDへの対応～	30分	水上勝義 (医師)	2. 高齢者に多くみられる症候、障害 3. 高齢者に多くみられる疾病
4	加齢に伴う薬物体内動態の変化と薬物相互作用 ～薬物動態の変化と薬物治療～	30分	大野能之 (薬剤師)	5. 薬物動態の変化と薬物治療
5	高齢者の薬物有害事象とポリファーマシー対策の指針 ～ADEs、高齢者安全な薬物療法GL、高齢者の医薬品適正使用指針～	30分	小島太郎 (医師)	4. 高齢者医療に関わる指針・ガイドライン 6. 高齢者の薬物治療に関わるガイドライン
6	老健施設での対応 ～老健の機能、介護保険制度、地域包括ケアシステム、LIFE～	30分	大河内二郎 (医師)	9. 多職種との連携
7	老健における薬剤師の役割、管理医師・かかりつけ医との連携 ～多職種での処方見直し・入所者情報の取得と共有方法～	30分	丸岡弘治 (薬剤師)	7. 高齢者の処方見直しへのアプローチ 9. 多職種との連携
8	高齢者の身体の機能に合わせた服薬支援と服薬環境の調整 ～在宅復帰支援～	30分	倉田なおみ (薬剤師)	8. 高齢者の身体能力に合わせた服薬支援 10. 高齢者施設や在宅の環境整備
9	高齢者の感染症の予防と治療	30分	松元一明 (薬剤師)	2. 高齢者に多くみられる症候、障害 3. 高齢者に多くみられる疾病

第二部【ワークショップ形式研修】

No	シラバス	講義時間	講師	ファシリテーター
10	老年薬学ワークショップBASIC <老健編> ～多職種協働で老健から在宅を目指して～	150分	溝神文博 (薬剤師)	新井克明 (病院・老健薬剤師) 早乙女彩子 (病院・老健薬剤師) 東原和美 (老健薬剤師) 丸岡弘治 (老健薬剤師)

主催：



一般社団法人日本老年薬学会
Japanese Society of Geriatric Pharmacy : JSGP

後援：



一般社団法人日本老年医学会
The Japan Geriatrics Society